

1 節 文化振興

1 主要施策

「市民文化の向上と創造・発展を図るため、芸術文化活動を推進し、郷土文化や新たな地域文化の振興を目指します。」

市民主体による地域文化を活かしたイベント等も開催されており、市民の地域文化への関心は高まっています。今後は、文化活動に参加する市民の底辺拡大と関係団体への支援強化を図りながら、創造性豊かな魅力溢れる地域づくりに向け、芸術文化の振興に取り組むことが求められています。

具体的には、市民文化の向上と、創造発展を図るため、関係団体の育成や連携強化に努めるとともに、心身の成長期にある児童・生徒にすぐれた芸術を鑑賞する機会を提供し、豊かな創造性と情操の育成を図るため、芸術文化活動を推進する必要があります。また、市民一人一人が地域の自然、歴史、文化を大切にする心を育み、市民が等しく、郷土文化に触れ、文化に対する理解や関心を深めるとともに、新たな地域文化の振興に努める必要があります。

2 文化振興の充実強化

【現状と課題】

離島県のさらに離島である本市では、すぐれた芸術文化に接する機会が少ない状況にあります。こうした中、文化団体や各種実行委員会等と連動し、市民総合文化祭や文化ホールを活用した自主的文化事業など各種文化事業に取り組んでおり、新たに子ども劇団の設立など市民の知的関心や要求に応えた文化活動の実施を図る必要があります。さらに、文化活動に参加する市民の底辺拡大と関係団体への支援強化を図りながら小・中学生の学習の場としても活力溢れる地域づくりに向け、市民ニーズにあった文化活動を推進し、すぐれた芸術文化にふれる機会の充実が求められています。離島県のさらに離島である本市では、すぐれた芸術文化に接する機会が少ない状況にあります。

【重点施策】

- (1) すべての市民が文化ホール（マティダ市民劇場）や公民館、博物館等の文化施設で、芸術文化や伝統文化を鑑賞できる機会を提供するとともに、参加しやすい環境づくりに努めます。
- (2) 多様な助成事業を活用し、地域文化の保存・伝承に努めます。□
- (3) 若い世代の芸術文化の創造・発展及び幅広い芸術的視野の形成を進めます。
- (4) 文化協会など、関係団体等と協力・連携し、地域文化の振興と各種文化事業の活性化を図る。□
- (5) 文化庁が実施する「文化芸術による子供の育成事業」等を鑑賞する機会を提供します。

3 施策項目

- (1) 地域文化及び芸術文化の振興
- (2) 文化振興団体との協力・支援体制の強化
- (3) 舞台芸術、各種文化事業の推進
- (4) 子どもの文化体験活動の推進
- (5) 芸術鑑賞の推進

4 平成27年度 事業計画

今年度は宮古島市市制施行10周年を記念して、各実施事業に「宮古島市市制施行10周年記念」の冠を付けて実施する。

①市単独事業

事業名	開催日・場所	概要
宮古島市民総合文化祭 『一般の部』	10月16日(金) ～18日(日) 中央公民館	「創造する市民の文化」をテーマに、これまで培ってきた芸能や技術の向上を図ると共に発表の機会を設け、多くの市民が参加し芸術文化に対する理解と認識を深めることを目的に実施します。
宮古島市民総合文化祭 『児童・生徒の部』	10月24日(土) ～25日(日) 中央公民館	『創造する市民の文化』をテーマに、児童・生徒による文化芸術の発表の機会を設けることにより、次世代の文化の担い手を育み、新しい文化の創造や先人達から培ってきた地域文化の伝承・発展に寄与するとともに、宮古島市の文化を広く発信することを目的とする。また、広く児童・生徒へ参加を呼びかけることで、文化芸術のレベルの向上やそれぞれの地域文化の認識及び共有に努める。
『音楽祭』	11月1日(日)	
『民話大会』	11月7日(土)	
『表彰式』	12月12日(土)	

②主な共同主催事業

事業名	開催日・場所	概要
「宝くじまちの音楽会」 岩崎宏美with宗次郎 ～心のふるさとを求めて～	6月28日(日) マティダ 市民劇場	本公演は、宝くじの社会貢献広報事業として、市民に上質な音楽を提供し、明るいまちづくりなどコミュニティ活動の充実・強化を図ることにより、地域社会の健全な発展と住民福祉の向上に寄与することを目的に実施します。 出演者：岩崎宏美、宗次郎 共演者：みやこ少年少女合唱団、ブーゲンビリアコーラス
民音学校コンサート	10月23日(金) マティダ 市民劇場	1973年5月に開始した「民音学校コンサート」は、離島を含む全国各地で開催され、この40年間で4,100校を超える小・中学校・高等学校において、延べ128万人以上の児童・生徒を対象に交響楽団やバレエ団の公演、海外の舞踊家など一流の芸術家との出会いの機会をつくり、子どもたちの心に音楽の感動を伝えています。今回の公演は市内中学生を対象に実施します。

③主な共催事業

事業名	開催日・場所	概要
ルートヴィッヒ・チェンバー・プレイヤーズ 2015in宮古島	5月6日(水) マティダ 市民劇場	本公演は、宮古島市市制施行10周年を記念して、世界の第一線で活躍するメンバーの演奏を多くの宮古島市民へ届けることを目的に実施します。 主催：宮古楽友協会、宮古地区吹奏楽連盟
みやこじま青少年 国際音楽祭 pearl of ocean	1:5月8日(金) 2:8月初旬 マティダ 市民劇場	本公演は、宮古島市市制施行10周年を記念して、2回に渡り音楽祭を実施する。 1回目は世界的巨匠イヴリー・ギトリスと日本を代表するバイオリニスト達と宮古島の子供達が共演する。 2回目が坂本龍一を代表とする東北ユースオーケストラと宮古島を含む国内のジュニアオーケストラの演奏 主催：みやこじま青少年国際音楽祭実行委員会

④主な助成事業

事業名	開催日・場所	概要
文化芸術による 子供の育成事業 (巡回公演事業)	11月12日(木) 狩俣中学校	小学校・中学校等において一流の文化芸術団体による巡回公演を行うことにより、時代の文化の担い手となる子どもたちの発想力やコミュニケーション能力の育成を図り、将来の芸術家の育成を図ることを目的に実施します。 公演団体：谷桃子バレエ団（「白鳥の湖」ダイジェスト版）

5 平成26年度 文化事業の実績

宮古島市民総合文化祭 『児童・生徒の部』

〈展示部門〉10月25日・26日



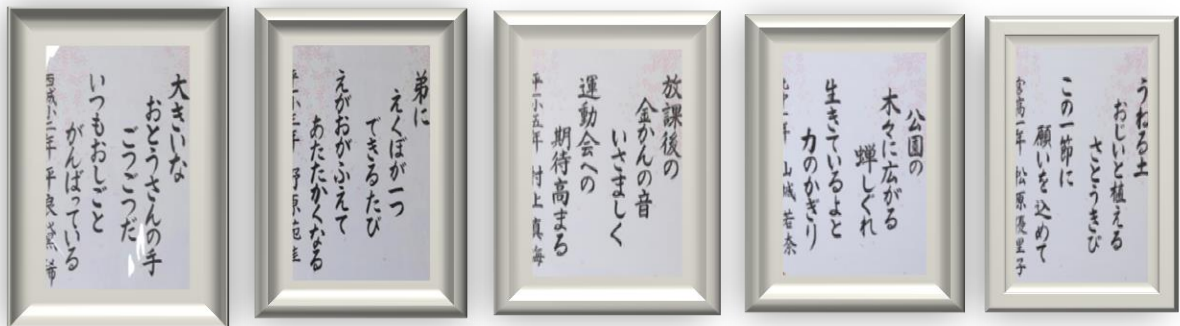
【書道展】



【美術展】



【自由研究・工作展】



【文芸展(短歌の部)】

宮古島市民総合文化祭 『児童・生徒の部』

〈発表部門〉



音楽祭 (11月1日)



郷土の民話大会 (11月29日)

宮古島市民総合文化祭 『一般の部』

〈展示部門〉 10月17日～19日

盆栽・園芸・茶道・宮古織物・木工・美術・生活文化・文芸・写真・華道・書道



〈郷土史部門〉

史跡巡り (城辺地区) 10月19日

〈発表部門〉

芸術劇場 3月29日

音楽祭 11月30日

子どもシアター 12月7日

芸能祭 12月7日

2節 文化財

1 施策項目

(1) 文化財の保護・活用

- ①埋蔵文化財の発掘調査・出土資料整理
- ②宮古島市neo歴史文化ロード整備事業の推進
- ③文化財保護と調査・研究及び環境整備の推進
- ④宮古島市史の編さん
- ⑤歴史考古資料の活用
- ⑥文化財の学校教育への普及
- ⑦各文化財管理団体等との連携

2 平成27年度 事業計画

(1) 文化財の保護・活用事業

- ①市内遺跡発掘調査事業
- ②市埋蔵文化財公開活用事業
- ③国指定名勝及び天然記念物「八重干瀬」保存管理計画策定事業
- ④国指定重要文化財「あとんま墓」及び「知利真良豊見親の墓」保存修理事業
- ⑤宮古島市neo歴史文化ロード整備事業
- ⑥文化財保護審議会の開催
- ⑦宮古上布伝承者養成事業

(2) 市史編さん事業

- ①宮古島市史「祭祀編」「自然編」の編さん
- ②宮古島市史資料の発行

3 施策の推進体制

(1) 文化財保護審議会

- ①文化財保護審議会は教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、及びこれらの事項に関して建議する。
- ②文化財保護審議会は、次の専門4部会で構成されている。
 - 第1部会 有形文化財に関する事項
 - 第2部会 無形文化財に関する事項
 - 第3部会 民俗文化財に関する事項
 - 第4部会 史跡・名勝・天然記念物に関する事項

(2) 宮古島市史編さん委員会

- ①市史編集に関する基本的大綱に関する事項
- ②市史編集に関する調査及び資料収集に関する事項
- ③その他市史編集に関する必要な事項

3節 宮古島市総合博物館

所在地：〒906-0011 宮古島市平良字東仲宗根添 1 1 6 6－2 8 7

電 話：7 3－0 5 6 7 F A X：7 3－0 8 2 2

敷地面積：10,000㎡／建築面積：2,020㎡／展示面積：620㎡（常設展示及び特別企画展示室）

1 基本方針

宮古の歴史、民俗、自然科学、美術・工芸の4部門からなる総合博物館です。

博物館に足を運べば、宮古全域の自然と風土、歴史と文化にふれることができるような博物館づくりを目指している。

宮古圏域住民の文化活動・文化振興の拠点として、さらに島外から訪れる観光客や研究者へ宮古島を紹介するとともに、宮古にかかわる史資料の収集・保存・調査研究の成果を地域の人々に公開する場として、地域に根ざした様々な活用を図る。

2 常設展示

（1）第一展示室

①歴史部門

宮古が、史書に登場するのは比較的新しく14世紀になってからのことです。

以後、争乱時代・豊見親時代・人頭税制時代・廃藩置県・旧慣改正期・第二次世界大戦と宮古の人々は様々な経験を経てきた。また、考古・歴史部門では宮古に人々が住み着いた時代から世界第二次世界大戦までの歴史の流れを編年体で紹介している。

渡来人と遺跡	世替わり前の事件と災害
婆羅公管下密牙古人	台湾遭害事件
按司時代と目黒盛豊見親	ロベルトソン号救助
与那覇勢頭豊見親	下地仁屋利社殺害(サンシー)事件
朝鮮人漂流民の見た宮古	学校創設
仲宗根豊見親	人頭税廃止運動と土地整理
人頭税制下の宮古	日露戦争と宮古
西洋人の見た宮古	太平洋戦争と宮古

②民俗部門

沖縄の復帰後、宮古の人々の生活も大きく変化しました。しかし、昔から引き継がれてきた伝統芸能や民俗行事などは、今もなお各地に継承されています。

民族部門では、明治から昭和初期のカヤヤー(茅葺き家)を復元、当時の住居生活を紹介するとともに民具やレプリカ、ジオラマ展示を用いて農耕・漁業・信仰・各地の主な民俗行事などを紹介している。

衣 食 住	水と生活	漁 業
農 耕	民俗行事、信仰	

（2）第二展示室

①自然科学部門

宮古諸島の原形はおよそ1万年前にできたといわれ、島全体が琉球石灰岩で覆われている。

自然科学部門では、宮古諸島の生い立ちを始め動物・植物・昆虫・天体・海洋・気象のコーナーを設け実物資料、テクノメーション、ジオラマ展示を用いて宮古の豊かな自然を紹介している。

特に「大野山林の鳥・ジオラマ」、「四季の星座・プラネタリウム」等は親子そろって楽しめるものである。

- 宮古諸島の自然
 - 気候、水の循環、地下水盆、地下ダム
- 宮古諸島の生い立ち
 - 島尻海岸の断層崖、陸橋の形成、不整合、石灰岩
- 宮古で発見された化石
 - ミヤコノロジカ（レプリカ）及び密集岩・ハシナガソデガイの化石・ゾウの化石
 - シマジリクジラの化石・サメの歯化石
- 宮古諸島の鳥類
 - 大野山林の鳥、池間湿原の鳥類、サシバの渡り、アカハラダカの渡り
- 宮古諸島の植物、昆虫
- 宮古諸島のほ乳類、は虫類、両生類
- 宮古島の海水に生息するエビ、カニ類
- 潮間帯（磯）の小動物たち
- 博物館収蔵資料目録「自然資料編」、「歴史資料編」

②美術・工芸部門

他の地域と異なる歴史と風土の中で育まれた宮古の文化は、特色ある織物や焼き物等の美術工芸品を生み出してきました。美術工芸部門では、宮古島市指定文化財となっている「旧家所蔵品」を中心に宮古の人々が創作や使用、あるいは鑑賞してきた芸術性の高い美術工芸品を紹介している。

扁 額 聯	宮古上布製作工程	焼 物
書(掛軸)	絵(掛軸)	焼物変遷コーナー
工 芸 品	絵 画	織 物

3 沖縄振興特別推進交付金事業を活用した取り組み

総合博物館では宮古島の歴史・文化・自然等を映像コンテンツとして、デジタル化し来館者に最新の情報をわかりやすく説明するため、タッチパネル式音声案内テレビを導入。

- (1) 第一展示室

島尻のパーントゥのレプリカの前にタッチパネル式のテレビを設置し、野原のパーントゥの映像を追加した。御嶽コーナーでは、ボタン式のランプ点灯のみであったが、宮古島市史年表の下に写真を設置し、更にタッチ式音声案内の御嶽映像も設置され御嶽の状況がよりわかりやすくなっている。
- (2) 第二展示室

第2展示室は、宮古の自然と風土を展示してたが、児童生徒の教育普及を図るために既存の音声案内機器を撤去し、最新の映像・音声を充実させた。また、展示パネルの数を減らすなどスリム化し「台風について」と「地球温暖化について」のコーナーにも、同じタッチパネル式テレビを設置した。特に台風のコーナーでは、平成15年度に宮古島を襲った台風14号の映像を取り入入れており地元の来館者に人気がある。

地下水コーナーにおいても説明ボックス3台を撤去、宮古島の地下水の様子を分かりやすくジオラマを制作し、農業と地下ダムの関係や様子を最新の映像で見ることができる。

宮古上布・針突コーナーでは薄型タッチパネルに変更し文字と映像で内容がわかりやすくコンパクトに仕上げ車イスの方や子どもたちにも見えやすく工夫した。

- (3) ものしり博物館

当博物館一押しのコーナーである「ものしり博物館」は、入り口の左側に設置している。

メインは、画面で見る写真と動画コンテンツで宮古島の史跡や遺跡などを数多く紹介し、中央の大型テレビで宮古島の民族芸能、国指定、旧石器時代の遺跡、先史時代の遺跡、戦争遺跡、自然など85点の映像を見ることができる。バックパネルには東平安名崎や赤瓦屋根、石積みを描き宮古島の雰囲気表現している。

(4) その他

調査研究や資料収集・展示・保存・教育の普及の基礎となる収蔵資料等の整理と目録作成は、「歴史民俗、自然科学、美術工芸」の4部門を掲げる博物館の最大の課題とされてきた。

「旧家資料編」第一集の目録はすでに作成しているが、自然・歴史・民俗・美術工芸の目録等の作成は年次計画立てながら、平成24年度に「自然資料編」、平成25年度に「歴史編」の目録を完成させた。これらを目録化することで今後、研究活動や学習の場などで活用されるなど、新たな価値として生まれることを期待する。平成27年度は、「民族編」の目録等を製本し宮古島の貴重な財産として益々活用されれば幸いである。

4 平成27年度 事業計画

(1) 企画展

博物館活動として、宮古関連および市民文化の高揚に寄する内容を計画し、企画展及び特別展として開催している。

回 数	事 業 内 容	期 間
第29回	「宮古のピルマス」 宮古にはピルマス（不思議なもの）があふれている。宮古のピルマス（不思議なもの）をテーマに、自然・歴史・考古・民俗の中のピルマスを紹介する。 【企画展関連行事】：ナイトミュージアム 市政10周年に併せ期間中、当館開館以来、初の試みとして夜の博物館を特別に開館する。日中とは違う夜の博物館の雰囲気を経験して頂くと共に、お仕事でなかなか博物館へ足をはこんでいただくことが難しい、市民の皆様に楽しんで頂ける機会とする。	平成27年 7月17日(金)～ 9月1日(火) 8月1日(土) 19:30～21:30

(2) 子ども博物館

博物館の教育普及活動の一環として、歴史・文化と自然・環境等に関する体験学習を行うことで郷土に対する認識を深める。募集人数は、市内の小学校4～6年生が対象で年間6回の体験学習を行い定員は30人とする。

回 数	内 容	期 日	場 所	講 師
第1回	「開講式」・「昔の業法～石巻落とし漁～」 池間島に古くから伝わる漁法を学び伝統文化に対する興味と関心を深める。	4月26日(日)	池間漁港・池間海域周辺	池間漁業協同組合
第2回	「しっくいシーサー」 シーサー作りをとおして、魔除けやしっくいについて学ぶ。	6月14日(日)	市総合博物館	博物館職員
第3回	「ナイトミュージアム」 夜の博物館を探検し、普段見ることのできない収蔵庫を見学する。	8月2日(日)	市総合博物館	博物館職員
第4回	「石蒸し料理」 先史時代の調理について学び、先史時代について理解を深める。	10月25日(日)	高野漁港	博物館職員
第5回	「野草の観察会と野草料理」 大野山林の食用食物を知り、実際に採集した野草を採集し、郷土の自然と文化に対する理解を深める。	12月13日(日)	博物館周辺	川上 勲
第6回	「常設展示を見てみよう」 博物館の見学をとおして、博物館について興味と関心を深める。	3月6日(日)	市総合博物館	博物館職員

(3) 特別展示

回 数	内 容	期 間
第1回	慰霊の日関連特別展示「70年残されたモノ～記憶・記録・モノ・遺跡～」 慰霊の日のあわせ、戦争体験（記憶）や資料（記憶・モノ）戦争遺跡などを通して過去の戦争を知り考える機会とする。 講演会：「戦争体験談」 日 時：平成27年6月23日（火）14:00～16:00 研修室 講 師：宮沢貞子	5月29日（金）～ 6月30日（火）
第2回	特別展示「平成24・25年度新収蔵品」 平成24・25年度までに、博物館に新しく収蔵された資料を一般に公開する。	10月30日（金）～ 12月1日（火）

(4) 持込展

回 数	内 容	期 間
第1回	「宮古人のルーツを探る特別編・沖縄考古学会宮古島大会関連展示」 友利元島遺跡、ミスズマ遺跡の発掘調査による近年の出土品を展示、無土期からスク時代にかけて、宮古人のルーツを探る新たな研究成果展を行う。	5月1日（金）～ 5月17日（日）

(5) 博物館講座

回 数	内 容	期 間
第11回	「野鳥の観察会」 5月10日から16日までの野鳥週間に併せ、宮古の鳥に対する理解と興味関心を深めるよう大野山林で野鳥の観察会を行う。 講師：仲地邦博（宮古野鳥の会会長）	5月10日（日） 9:00～11:00
第12回	「宮古の盆」 お盆は宮古でも重要な行事の一つとなっている。 沖縄本島を中心に各地域、門中や平均的な家庭のお盆など年中行事を紹介しながら先祖の供養を大切にする沖縄の行事等を学ぶ機会とする。 講師：稲福政育（糸満市教育委員会・総務部・生涯学習課・文化振興係）	8月16日（日） 14:00～16:00

5 平成26年度 事業実績

(1) 企画展

回 数	内 容	期 間(備考)
第27回	「むしむし展」 宮古諸島で確認されている昆虫類を紹介する。昆虫採集と標本づくりを体験し自然に対する理解を深め、これに対する外来種についても紹介する。 【企画展関連行事】 講演会：「むし博士になろう！」 日 時：平成26年8月3日（日）9:00～12:00 講 師：岡 徹、砂川博秋（宮古島自然クラブ） 参加者：15人	平成26年 7月25日（金）～ 8月26日（火） 入館者 2,968人
第28回	「クバものがたり」 クバは、古くから御嶽や祭祀の場で使用されてきた。また、水をはじくという性質から、クバガサやクバズーなど民具としても様々な用途に使われており企画ではクバを民族・歴史・自然・美術の視点からみてクバについての理解を深める。 【企画展関連行事】 座談会：「クバから広げる！」 日時：平成27年2月15日（日） 講 師：岩本大輔（宮古織物研究会会員）・小川京子（バスケットアーティスト） 大城裕子（宮古文化協会会長）・佐渡山政子（宮古民話の会） 下里典子（宮古島市働く女性の会館長） 前田比呂也（沖縄県立博物館・美術館 美術館副館長） 参加者：50人	平成27年 2月13日（金）～ 3月10日（火） 入館者787人

(2) 特別展示

回 数	内 容	期 間(備考)
第1回	「伊良部島・下地島の生きもの展」～生物多様性調査プロジェクトの調査報告～ 2012（平成24年）～2013（平成25年）にかけて、伊良部島と下地島の自然環境生物相について、採集された珍しい種や稀少な種を取り上げ写真と標本で紹介する。 【関連行事】 子ども向けワークショップ「海草でアートしよう！」 日時：5月17日（土）9:00～12:00 講師：藤田喜久（NPO法人海の自然史研究所・代表理事）琉球大学大学教育センター非常勤講師 参加者：22人 講演会「伊良部島・下地島の生き物」 日時：5月17日（土）14:00～16:00 講師：藤田喜久（NPO法人海の自然史研究所・代表理事）琉球大学大学教育センター非常勤講師 参加者：13人	平成26年 5月2日（金）～ 5月27日（火） 入館者930人
第2回	慰霊の日関連特別展示「戦争とは何か～モノから考える～」 慰霊の日にあわせ、博物館収蔵の資料を展示する。展示をとおして過去の戦争の状況や戦時中、宮古で苦難を強いられた宮古南静園に残る戦争の傷跡を見学する。 【関連行事】 「宮古南静園の戦跡見学と講話」 日時：平成26年6月14日（土）13:00～14:00 講話：知念正勝、亀浜玲子（ハンセン病と人権市民ネットワーク宮古） 参加者：32人 ○戦跡見学（ぬすとうぬガマ・トンネル壕の跡） 日時：平成26年6月14日（土）15:00～16:00 参加者：32人	平成26年 6月6日（金）～ 6月27日（金） 入館者839人

(3) 博物館講座

回数	内 容	備 考
第9回	「発掘調査速報2」 「発掘調査速報」に続き、平成25・26年度に実施した発掘調査の中から「与那覇遺跡」と「金志川豊見親屋敷跡」を紹介し埋蔵文化に対する理解を深め興味関心をもってもらおう。 講演会「発掘調査速報2」 日 時：平成26年12月21日（日）14:00～16:00 講 師：久貝弥嗣（市教育委員会生涯学習振興課文化財係） 参加者：15人	
第10回	「ゲノムから考える琉球列島の先史」 旧上野村にあるピンザアブ洞穴から採集した人骨を最新のDNA分析による宮古人のルーツを紹介し考古学への理解と興味を深める。 講演会「ゲノムから考える琉球列島の先史」 日 時：平成27年2月21日（日）14:00～16:00 講 師：木村亮介（琉球大学大学院医学研究科 准教授） 参加者：25人	

(4) 子ども博物館

回 数	内 容	期 日	場 所	講 師
第1回	「開講式・博物館で学ぼう！」 博物館の見学をとおして、博物館について 興味・感心を深める。 参加者：27名	5月11日(日)	博物館内	学芸員：寺崎香織
第2回	「史跡めぐり～宮古島の歴史を知ろう～」 市内の史跡を巡り、宮古の歴史に対して理解 を深める。 参加者：17名	6月22日(日)	旧西中共同製糖場 煙突・陸軍中飛行 場・池田砦・仲宗 根豊見親の墓	生涯学習振興課 新城宗史
第3回	「文化財を描いてみよう」 市内の文化財に対する理解を深め描く事 により美術に対する関心を深める。 参加者：11名	8月24日(日)	張水御嶽と石垣・ 張水石畳道	平良ヒロ子 右田 亜子
第4回	「掘って作って食べよう！」 収穫したイモを作って昔のイモ料理を再現 し、郷土の食文化に対する理解を深める。 参加者：19名	10月5日(日)	博物館内外	津嘉山荘代表 津嘉山 千代
第5回	「野草の観察会と野草料理～野草餃子を作ろう」 大野山林の食用食物を知るとともに実際に 採集した野草を調理することで郷土の自然と 文化に対する理解を深める。 参加者：14名	11月30日(日)	博物館周辺	川上 勲
第6回	「宮古の水を考える 地下ダムを見学してみよう」 地下ダム資料館の見学をとおして、宮古の 地下水について学び考える。 参加者：11名	2月1日(日)	集中管理所 仲尾嶺 ファームポンド	宮古土地改良区職員

(5) 移動展・持込展

回 数	内 容	期 間
第1回	移動展「伊良部島・下地島の生きもの展」 場所：宮古島市マリンターミナル（平良港） サンマリンターミナル（佐良浜港）	6月13日(金)～30日(月)
第2回	沖縄県平和祈念資料館移動展「児童・生徒の平和メッセージ展」	8月29日(金)～9月12日(金) 入館者：383名
第3回	長崎健一写真展「御嶽の森と聖地巡礼～祈りの生まれる場所～」 (関連行事) 長崎健一写真展関連イベント「作家対談」 日時：平成26年9月27日(土) 14:00～15:30 参加者：20名	9月20日(土)～10月31日(金) 入館者：1,166名
第4回	第10回アジア・アート展in沖縄宮古島 (関連行事) 田中睦治先生によるワークショップ 「はぎれの布あそび」 日時：平成26年12月13日(土) 14:00～16:00 参加者：10名	12月11日(木)～12月24日(水) 入館者：534名

6 施策の推進体制

宮古島市総合博物館協議会委員

博物館協議会委員の職務（総合博物館協議会規則第2条）

協議会は、博物館の運営に関し館長の諮問に応ずるとともに 館長に対して意見を述べるものとする。

4 節 文化ホール

1 設置目的

住民の舞台芸術活動を推進し、住民文化の創造に寄与するとともに、住民生活の向上を図るため、宮古島市文化ホールを設置する。（宮古島市文化ホール条例第1条）

2 施設の概要

所在地：〒906-0013 宮古島市平良字下里108-12

①延床面積	4,354.61㎡	892席	⑤舞 台	間 口	18m
②客 席	固定席	747席		奥 行	14m
	移動席	133席		高 さ	8m
	（うち障害者車椅子席 25席）			床面材質	桧集成材
	背たおれ席	12席		バ ト ン	8本
	親子観覧室	8㎡×2室		反響板	有り
③楽 屋	楽 屋 1（洋室	59.00㎡）		緞帳	速度調整可
	楽 屋 2（和室	71.05㎡）	⑥照 明	調光設備	松村電機製作所
	楽 屋 3（個室	18.74㎡）	⑦音 響	音響調光卓	T0A株式会社
④ホワイエ（ロビー）	347.91㎡				

3 施設の開館日及び開館時間

（1）開館日

火曜日から日曜日（ただし、祝日法による休日、年末年始及び慰霊の日は除く）

（2）開館時間

午前9時から午後10時まで（催物のない場合は、午前9時から午後5時まで）

4 施策の体制

宮古島市文化ホール運営委員会

委員の職務（文化ホール運営委員会規則第2条）

- （1）宮古島市文化ホール（以下「文化ホール」という。）の運営基本計画に関すること。
- （2）文化ホールの自主事業に関すること。
- （3）文化ホールの利用普及に関すること。
- （4）その他教育長が必要と認めること。

5 自主文化事業

（1）事業の基本理念

宮古島市文化ホールは“音楽もできる劇場型多目的ホール”という位置づけがされている。地域独自の風土の中で育まれた文化の育成と、住民が質の高い芸術文化活動を鑑賞または経験して、新たな文化と伝統文化の融合・発展を先導するための文化拠点とする。

（2）事業の内容

- ①鑑賞事業 住民に質の高い舞台芸術を鑑賞する機会を提供する。
- ②文化育成事業 住民の自主的な文化創造活動を支援する。
- ③文化交流事業 住民の芸術文化活動と他地域の芸術文化活動の交流促進を図る。

平成27年度 事業計画表	
4月	
5月	
6月	
7月	マティダ市民劇場ミステリーツアー【開催日7月31日(金)】
8月	宮古島市こども劇団「はしり星にのって」第3回公演【開催日8月30日(日)】
9月	
10月	
11月	東京芸術座宮古公演「あわて幕やぶけ芝居」【開催日11月7日(土)】
12月	
1月	
2月	マティダライブ8【開催日2月14日(日)】 マティダライブネクステージ【開催日2月20日(土)】
3月	琉球國祭り太鼓宮古支部20周年記念公演【開催日3月12日(土)】

7 平成26年度 事業実績

	事業内容	期間
1	「マティダライブ7」 音楽やダンスパフォーマンスなどに真摯に取り組んでいる高校生に、発表の機会を提供し、活動の支援を行った。この事業は、「共に創造する喜び・共に感じる連帯感と達成感」をキーワードに、学生の自主的な企画・運営により実施された。 【出演者】 ○高校生バンド 8組 出演者 50名 ○高校生ダンスチーム 4組 スタッフ 30名 	平成27年 2月22日(日) 観客数800名
2	「宮古島市こども劇団」 1 目 的 演劇を通して他者との関わりや、自己を客観視する力、社会性を理解する力などをつけ、人格の形成を図る。また、内在している潜在能力を引き出せるよう支援していくことで、こどもたちの心の成長に役立て、加えてアイデンティティーの意識を高め、地域の文化力を発信することを目的とする。 2 目 標 一過性の演劇発表に留まることなく、演劇の真の魅力を理解しながら、劇団に関わる全ての人々がコンセプトを自分のものにできるようにする。また、互いの目的意識を高めることで、自己実現を確かめ合いながら、世代を超えた感動空間を共有する。加えて、継続した劇団運営ができるよう自立した団体を目指す。 	東京公演 平成26年 7月26日(土) ～27日(日) 観客数510名 第2回地元公演 平成27年 1月25日(日) 観客数500名



8 平成26年度利用状況

① 月間稼働率

	稼働可能日	稼働実日	稼働率(%)
4月	25	4	16.0
5月	24	7	29.2
6月	25	9	36.0
7月	21	9	42.9
8月	22	11	50.0
9月	16	7	43.8
10月	26	12	46.2
11月	24	23	95.8
12月	16	16	100.0
1月	22	11	50.0
2月	23	12	52.2
3月	25	11	44.0
合計	269	132	49.1

② 目的別利用状況

催し物の種別	回数	比率(%)
音楽	30	22.7
演劇	7	5.3
舞踊	15	11.4
映画	0	0.0
大会/式典	6	4.5
講演会/講習/研修会	9	6.8
教室等発表会	10	7.6
その他	55	41.7
合 計	132	100.0

③ 入場者数月間稼働率

	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度
4月	1,650	2,200	1,462	1,200	785
5月	4,060	2,580	2,950	2,462	3,400
6月	4,830	4,679	3,380	3,576	3,690
7月	4,050	3,910	4,850	1,350	3,632
8月	3,370	2,720	3,350	3,942	4,830
9月	2,150	3,630	3,790	2,110	1,490
10月	9,400	3,790	4,410	5,440	3,200
11月	7,550	9,550	9,610	9,190	9,230
12月	4,940	3,460	3,350	4,100	5,660
1月	3,450	2,370	3,050	2,117	1,231
2月	1,390	4,320	1,690	4,300	3,733
3月	3,427	6,600	5,570	5,750	3,960
合計	50,267	49,809	47,462	45,537	44,841

6 章 スポーツ振興 ～スポーツアイランドの確立～

1 基本方針

（1）基本的な考え方

今日、社会環境は高度情報化社会の到来により人々の生活に利便性をもたらしている反面、日常生活においては、体を動かす機会の減少により体力や運動能力の低下、人間関係の希薄化、ストレスの増大など、心身両面に渡る健康上の諸問題が顕著化してきている。

このような中、人々が健康で明るく豊かな生活を形成するために、スポーツの果たす役割は重要であり、宮古島市においても国や県、スポーツ団体と連携・協働することにより新しい時代にふさわしいスポーツの振興を図ることとする。

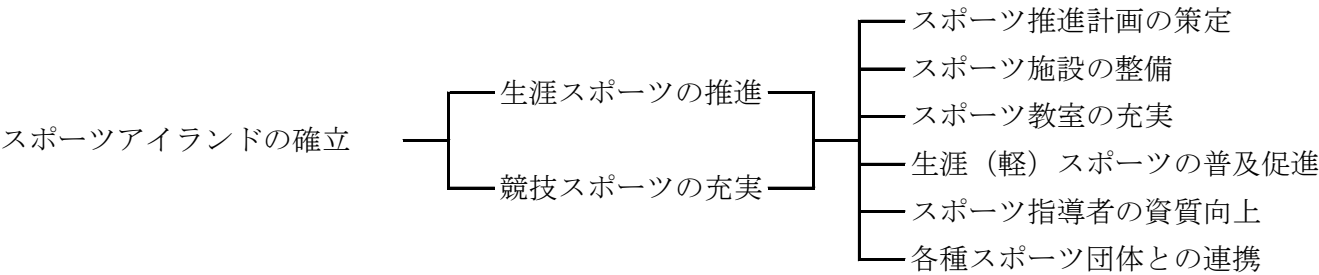
（2）現状と課題

近年、自由時間の増大や少子高齢化の進展、ライフスタイルの変化の中で、健康に対する意識や生活習慣病への関心が高まりを見せており、体力の向上や健康の保持増進、仲間づくりのためにも市民の誰もが気軽にスポーツに親しむ環境を整備していくことは重要なことである。

このような中、宮古島市において、生涯スポーツや競技スポーツの拡大を図っていくためにもスポーツ施設の充実と有効活用、指導者の育成強化、サークル活動の育成など、多くの市民がスポーツを楽しめるとともに地域のスポーツ振興がより一層展開されるよう取り組んでいかなければならない。

2 社会体育における重点施策

（1）施策の体系



（2）施策の内容

- ①宮古島市におけるスポーツに関する施策を総合的かつ計画的に推進するスポーツ推進計画を策定する。
- ②各種キャンプの誘致ができる施設整備の充実と既存施設の整備促進を図る。
- ③市民の体力の向上と健康の保持増進のためスポーツ教室の充実を図る。
- ④子供から高齢者まで楽しむことができる生涯（軽）スポーツを促進する。
- ⑤各競技の指導者育成の充実とその活用を図る。
- ⑥民間活力を活かしたスポーツ振興を図る観点から、体育施設の指定管理者制度を検討していく。

(3) 重点事業の内容と目標

- ①スポーツ推進計画の策定
- 市民アンケート調査や関係機関にヒアリング調査を行い、策定委員会を設置し計画を策定する。
- ②スポーツ施設の維持管理
- ア 市民球場の整備（グラウンド環境の整備、芝生の改善、防球ネットの設置）
- イ 多目的屋内運動場の整備（雨漏り修繕）
- ウ 既存施設の環境整備作業及び修繕
- ③各種スポーツ教室の充実
- 各種スポーツ教室を実施し、体力づくりと健康の保持増進に努める
- ④各種イベントの実施とキャンプの誘致
- ア スポーツマネジメントプランに基づきスポーツトレーニングに親しめる環境の整備
- イ スポーツイベントの誘致活動やイベントの開催
- ⑤体育施設の指定管理
- 各施設の特性に応じた指定管理者制度の計画的な導入を検討する。

3 平成27年度事業計画

月	事業内容	対 象	場 所	協 力
4月	第1回スポーツ推進審議会及び 第3回スポーツ推進計画策定会議	スポーツ推進審議会委員	総合体育館2階会議室	
	第1回スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員	総合体育館2階会議室	
5月	第2回スポーツ推進審議会及び 第4回スポーツ推進計画策定会議	スポーツ推進審議会委員	総合体育館2階会議室	スポーツ推進委員
	ニュースポーツ体験教室（城辺地区）	一般市民	城辺トレーニングセンター	
6月	第2回スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員	総合体育館2階会議室	スポーツ推進委員
	ニュースポーツ体験教室（下地地区）	一般市民	下地体育館	
7月	第3回スポーツ推進審議会及び 第5回スポーツ推進計画策定会議	スポーツ推進審議会委員	総合体育館2階会議室	スポーツ推進委員
	ニュースポーツ体験教室（上野地区）	一般市民	上野体育館	
8月	第4回スポーツ推進審議会	スポーツ推進審議会委員	総合体育館2階会議室	スポーツ推進委員
	第3回スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員	総合体育館2階会議室	
	第53回沖縄県スポーツ推進委員研究大会	スポーツ推進委員 市町村生涯学習担当者	浦添市	
	ニュースポーツ体験教室（平良地区）	一般市民	総合体育館	
9月	第4回スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員	総合体育館2階会議室	
10月	体育の日関連事業「Do体力づくり-あなたの 体力いくつですか?-」	一般市民	総合体育館	一般財団法人簡易保 険加入協会、健康増 進課、健康づくり推 進員、スポーツ推進委 員
11月	軽スポーツ教室（生涯学習フェスティバル）	一般市民	中央公民館	スポーツ推進委員
	沖縄県中学校駅伝大会	県内中学生	陸上競技場	
	ニュースポーツ講習会	スポーツ推進委員	総合体育館	

12月	第5回スポーツ推進審議会	スポーツ推進審議会委員	総合体育館2階会議室	
	第5回スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員	総合体育館2階会議室	
	平成27年度沖縄県スポーツ推進委員研修会	スポーツ推進委員 市町村生涯スポーツ担当者	名護市	スポーツ推進委員
	ニューススポーツ体験教室	一般市民	総合体育館	スポーツ推進委員
1月	各競技合宿関係（陸上・駅伝等）	実業団・大学	各体育施設	
	野球キャンプ受入整備事業	プロチーム・実業団・大学	市民球場他	
2月	プロ・スポーツキャンプ関係（野球・陸上・駅伝等）	プロチーム・実業団・大学	各体育施設	
	第6回スポーツ推進審議会	スポーツ推進審議会委員	総合体育館2階会議室	
	第6回スポーツ推進委員協議会	スポーツ推進委員	総合体育館2階会議室	
3月	スポーツキャンプ関係	実業団・大学	各体育施設	

4 附属機関等

(1) スポーツ推進審議会委員

①審議会の設置

スポーツ基本法第31条「都道府県及び市町村に、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関を置くことができる。」に基づき、本市においても、スポーツ推進審議会条例により設置している。

②委員定数・任期

審議会の委員定数は5人で教育委員会が委嘱し任期は2年となっている。

(2) スポーツ推進委員

①委員定数・任期

推進委員の定数は20人で教育長が委嘱し任期は2年となっている。

②推進委員の職務

- ア 住民の求めに応じてスポーツの実技の指導を行う。
- イ 住民のスポーツ活動の促進のための組織の育成を図る。
- ウ 学校、公民館等の教育機関その他行政機関の行うスポーツの行事又は事業に関し協力する。
- エ スポーツ団体その他の団体の行うスポーツに関する行事に関し、求めに応じ協力する。
- オ 住民一般に対しスポーツについての理解を深める。
- カ 住民のスポーツ振興のための指導助言を行う。

5 平成26年度 事業実績

月	教室及び大会講習会	対 象	場 所	協 力
4月	宮古島市ｽﾎｰﾂ推進委員委嘱状交付式及び第1回ｽﾎｰﾂ推進委員協議会	ｽﾎｰﾂ推進委員	陸上競技場会議室	
5月	ﾌｧﾐﾘｰﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ教室（城辺地区）	一般市民	城辺トレーニングセンター	ｽﾎｰﾂ推進委員
6月	第2回ｽﾎｰﾂ推進委員協議会	ｽﾎｰﾂ推進委員	陸上競技場会議室	
	ﾌｧﾐﾘｰﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ教室（下地地区）	一般市民	下地体育館	ｽﾎｰﾂ推進委員
7月	ﾌｧﾐﾘｰﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ教室（上野地区）	一般市民	上野体育館	ｽﾎｰﾂ推進委員
	第3回ｽﾎｰﾂ推進委員協議会	ｽﾎｰﾂ推進委員	陸上競技場会議室	
	沖縄県中体連ﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ競技大会	県内中学生	総合体育館	
8月	ｽﾎｰﾂ推進審議会委員委嘱状交付式及び第1回ｽﾎｰﾂ推進審議会	スポーツ推進審議会委員	陸上競技場会議室	
	第52回沖縄県ｽﾎｰﾂ推進委員研究大会発表内容事前確認	ｽﾎｰﾂ推進委員	総合体育館2階会議室	
	ﾌｧﾐﾘｰﾊﾞﾄﾞﾐﾝﾄﾝ教室（平良地区）	一般市民	総合体育館	ｽﾎｰﾂ推進委員
	第52回沖縄県ｽﾎｰﾂ推進委員研究大会	ｽﾎｰﾂ推進委員 市町村生涯ｽﾎｰﾂ担当者	国頭村ふれあいセンター 国頭村総合体育館	ｽﾎｰﾂ推進委員
9月	第4回ｽﾎｰﾂ推進委員協議会	ｽﾎｰﾂ推進委員	総合体育館2階会議室	
10月	体育の日関連事業 「Do体力づくり-あなたの体力いくつか?」	一般市民	総合体育館	一般財団法人簡易保険加入協会 健康増進課、健康づくり推進員、ｽﾎｰﾂ推進委員
	第5回ｽﾎｰﾂ推進委員協議会	ｽﾎｰﾂ推進委員	総合体育館2階会議室	
	沖縄県高体連ﾊﾞｽｹｯﾄﾎﾞｰﾙ大会	県内高校生	総合体育館他	
11月	軽ｽﾎｰﾂ教室（生涯学習フェスティバル）	一般市民	中央公民館	ｽﾎｰﾂ推進委員
	「テニポン」ニュースﾎｰﾂ講習会	ｽﾎｰﾂ推進委員	総合体育館	
12月	第2回ｽﾎｰﾂ推進審議会及び第1回ｽﾎｰﾂ推進計画策定会議	ｽﾎｰﾂ推進審議会委員	総合体育館2階会議室	
	平成26年度沖縄県ｽﾎｰﾂ推進委員研修会	ｽﾎｰﾂ推進委員 市町村生涯学習担当者	中城村民体育館	
	「テニポン」ニュースﾎｰﾂ体験教室	一般市民	総合体育館	ｽﾎｰﾂ推進委員
1月	各競技合宿関係（陸上・駅伝等）	実業団・大学	各体育施設	
	プロ野球キャンプ受入整備事業	オリックス球団	市民球場他	
2月	オリックスﾊﾞﾌｧﾛｰｽﾞ春季キャンプ	オリックス球団	市民球場・屋内運動場・サブグラウンド	
	第57回九州地区ｽﾎｰﾂ推進委員研究大会	九州各県ｽﾎｰﾂ推進委員	大分県立総合体育館	ｽﾎｰﾂ推進委員
	実業団・大学キャンプ各競技合宿関係（野球・陸上・駅伝等）	実業団・大学	各体育施設	
	第3回ｽﾎｰﾂ推進審議会及び第2回ｽﾎｰﾂ推進計画策定会議	ｽﾎｰﾂ推進審議会委員	総合体育館2階会議室	
3月	第6回ｽﾎｰﾂ推進委員協議会	ｽﾎｰﾂ推進委員	総合体育館2階会議室	
	実業団・大学キャンプ各競技合宿関係（野球・陸上・駅伝等）	実業団・大学	各体育施設	

6 体育施設の概要

施 設 名	総面積（㎡）	競技面積（㎡）	施 設 の 概 要
宮古島市陸上競技場	31,665.00	19,239.00	第三種公認 夜間照明(付帯施設、マラソンコース)
宮古島市総合体育館	10,795.71	4,100.00	バレーボール(3面) バスケットボール(2面) バトミントン(8面) ハンドボール(2面) 小体育室(80㎡) 小トレーニング室(80㎡) 会議室(30.25㎡) その他
宮古島市民球場	23,180.00	19,713.00	硬式、軟式、管理棟、その他
多目的屋内運動場	23,114.00	11,300.00	小運動場(3,600㎡) ブルペン(560㎡) 運動広場(7,140㎡)
城辺陸上競技場	22,000.00	16,944.00	400mトラック
城辺トレーニングセンター	1,579.00	1,300.00	バレーコート(2面) バスケットコート(1面) バトミントン(4面)
上野陸上競技場	38,599.00	19,420.00	400mトラック 夜間照明(安全灯)
上野体育館	3,333.00	1,554.00	バレーボール(2面) バスケットボール(2面) テニス(2面) ハンドボール(1面) バトミントン(4面)
下地陸上競技場	21,607.00		400mトラック 夜間照明
下地体育館	1,629.00	996.04	バレーボール(2面) バスケットボール(2面) テニス(1面) バトミントン(4面) ウエイトトレーニング室(36㎡)
佐良浜スポーツセンター	10,628.00	270.00	野外プール25m×6コース 幼児用プール 野外運動場
伊良部勤労者体育センター	10,628.00		野球場
カマヤ嶺公園テニスコート	5,828.29		テニスコート
宮古島市営球場	14,578.47	13,848	軟式野球場